

きぬた



2026年8月1日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950

ぼくらはみんな生きている 生きているから歌うんだ

ぼくらはみんな生きている 生きているからかなしいんだ

(てのひらを太陽に)



* 平和について思うこと *

1945年（昭和20年）の終戦から、今年は81年となります。戦後の日本は、戦争を知る人たちが「二度と戦争をしてはならない」という強い思いを持って、平和な国をつくってきました。80年もの歳月が流れると、戦争を体験した人は少なくなり、私自身を含め、日本で今生きている人たちは戦争を遠い昔の出来事と感ずるようになってきているのではないのでしょうか。一方で世界に目を向けてみれば、なかなか解決の見通しがたないウクライナやガザの戦争、アメリカによるベネズエラへの軍事侵攻、アメリカとイスラエルによるイランへの武力攻撃など戦争が現実となっている国もあります。特に8月は広島・長崎の原爆の日、終戦記念日があるため、戦争や平和について思いを寄せられたらと思っています。

昨年、NHKの朝の連続テレビ小説で「あんぱん」が放映されていました。

「あんぱん」は、『アンパンマン』の生みの親であるやなせたかしさんと小松暢（のぶ）さん夫婦をモデルにしたドラマです。見ていた方はおわかりになると思いますが、日本が太平洋戦争に突入し、主人公のやなせたかしさんは、自身も戦争にかり出され、弟は海軍に志願し戦死する等、時代に翻弄される一人です。戦争時代の放送が続いたときは見ていてつらいなと思うことが度々ありました。印象に残った場面はたくさんあるのですが、その中でも日本兵たちが前線で戦ううち食料の補給が途絶え、飢餓状態の中、原住民を銃で脅し、老女が泣く泣く差し出したゆで卵に飛びつき殻ごと貪り食べるシーンでは、極限状態に置かれた人間の姿が描かれていました。暢（のぶ）さんは、小学校教師として自分が正しいと信じて、子どもたちに軍国主義や愛国心の教育（国家教育）を行っていましたが、そのことが彼らを戦場へ向かわせたという自責の念にかられ、のちに教職を辞めます。

当法人の創設者浦辺史は小学校の訓導（教師）をしていて、天皇制教育に抗した振興教育運動に関わり、治安維持法違反で逮捕投獄されながらも、徹底して子どものための実践家としてその志を貫きました

日本ではいまだ米軍基地が数多く存在し、宮古島には自衛隊のミサイル基地が作られるなど、無関係ではいられない状況になっています。

「平和」とは何か、「平和」を守るために一人ひとりができることは小さなことかもしれませんが、忘れずに考えることを大切にできたらと思います。

最近読んだ絵本「へいわってどんなこと？」を紹介します。

作： 浜田 桂子
出版社： 童心社



<8月の予定>※状況により変更あり。

3日（火） 年長午後プールスタート
4日（火） きぬたん（水遊び）
6日（木） 避難訓練
19日（水） 誕生会
20日（木） きぬたん（水遊び）
22～24日（土～月） 全国保育合同研修集会
27日（木） きぬたん（水遊び）

<ご挨拶>2019年4月より事務として約7年間働いてまいりました竹内と申します。

8月1日より事務局本部へ異動することとなりました。

保育園での事務の仕事は想像していた以上に頭を使う仕事で慣れないうちは大変でしたが、そんな時に事務所の中から子どもたちの遊ぶ姿を見たり、テラスでちょっとお話するだけでも、本当に皆可愛くてホッと優しい気持ちになりました。誰でも自然と笑顔になってしまう、子どもの力ってすごいですね。保護者の方たちも、皆さんいつも穏やかで、明るく挨拶を交わしていただき感謝しております。

これからも子どもたちが元気に成長し、園の温かい雰囲気がずっと続いていきますよう願っております。

7年間本当にありがとうございました。

(※8,9月は週に1日ほど業務で園の方へ参りますので今後ともよろしく願いいたします。)

<9月の予定>※状況により変更あり。

1日（火） 引き取り訓練
3日（水） きぬたん（園庭遊び+給食体験）
4日（金） プール終い
9日（水） 月のおうち懇談会
10日（木） 太陽のおうち懇談会
きぬたん（赤ちゃん広場）
わらべうた（幼児）
11日（金） 造形
12日（土） みんなで園をきれいにする会
15日（火） 星のおうち懇談会
16日（水） 異文化交流
17日（火） きぬたん（もぐもぐ離乳食）
25日（金） 造形
29日～10/1 中学生職場体験
30日（水） 乳児医療証切り替え

2回目の「みんなで園をきれいにする会」を行います！ご協力をお願いします。

日時：令和8年9月12日（土）

9:00～10:00

内容：植木の剪定、プール、タープ片付け等

らいおんさん お泊り保育

らいおんさんのお泊り保育を7月3,4日に行いました。らいおんさんが、おうちごとにどうやって過ごすかを話し合いながらお泊り保育を作っていきます。役割分担や話し合いを通じて、みんなで何かをやり遂げる喜びを知ること、集団としての大切な学びです。らいおんさんの姿を年下の子どもたちは憧れを持って見ています。自分たちもらいおんさんになったら...と期待に胸を膨らませ、それが大きくなる喜びへとつながっていくのではと思います。

